

Press Release

報道関係者各位


 〒107-6011 東京都港区赤坂1-12-32-11F
 TEL:03-5545-3303 FAX:03-5545-3305
 ホームページ <http://www.ssf.or.jp>

『スポーツライフ・データ2000～2010』 ～種目別にみる10年間のスポーツ実施状況の推移～

定期的なスポーツ実施者が10年間で減少

成人の週1回以上スポーツ実施人口は、サッカー以外は低下傾向

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する公益財団法人笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：小野清子 以下：SSF）は、国民のスポーツライフに関する定点観測として「スポーツ活動に関する全国調査」「10代の運動・スポーツ活動に関する全国調査」を2年ごとに実施しています。当財団では、これらの調査の過去10年間分のデータをまとめ、13のスポーツ種目について実施人口の推移を分析しましたので、結果を報告いたします。

【要旨】

文部科学省「スポーツ基本計画」では、『成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人（65%程度）、週3回以上のスポーツ実施率が3人に1人（30%程度）となること』を目標としている。このような高い目標が掲げられた背景には、前の「スポーツ振興基本計画」（2000～2010年）において、週1回以上のスポーツ実施率が2000年の37.2%から2009年の45.3%へと上昇したことがある。笹川スポーツ財団「スポーツライフ・データ」をみても、2000年に51.4%であった成人の週1回の運動・スポーツ実施率は、2010年には59.0%にまで上昇している。ところが、成人の実施率が上位である13種目について分析をした結果、週1回以上の実施率が伸びているのはサッカーのみで、その他の種目では実施率は減少、または横ばいであることが明らかとなった。

スポーツ実施率が上昇している背景には、健康志向の高まりによるジョギング・ランニングなどの運動（エクササイズ）系種目実施者の増加があり、こうした運動系種目の伸びに隠れて、競技系スポーツ実施者の減少への対策が放置されているのではないだろうか。

【分析対象の種目】

- | | |
|-------------|---------------|
| 1.ボウリング | 2.ゴルフ（コース） |
| 3.水泳 | 4.バドミントン |
| 5.登山 | 6.サッカー |
| 7.野球 | 8.卓球 |
| 9.スキー | 10.テニス（硬式テニス） |
| 11.ソフトボール | 12. バレーボール |
| 13.バスケットボール | |

※「スポーツライフ・データ 2010」の結果より、成人の年1回以上の実施率上位30種目の中から、（公財）日本オリンピック委員会加盟団体の12種目およびバスケットボールの合計13種目を対象とした。

【主な分析内容】

- (1) 成人の種目別スポーツ実施人口の推移
- (2) 青少年（10代）の種目別スポーツ実施人口の推移
- (3) 種目別スポーツ実施人口と実施希望人口

この件に関するお問合せ先
笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所：武長・澁谷
 TEL:03-5545-3303 data@ssf.or.jp

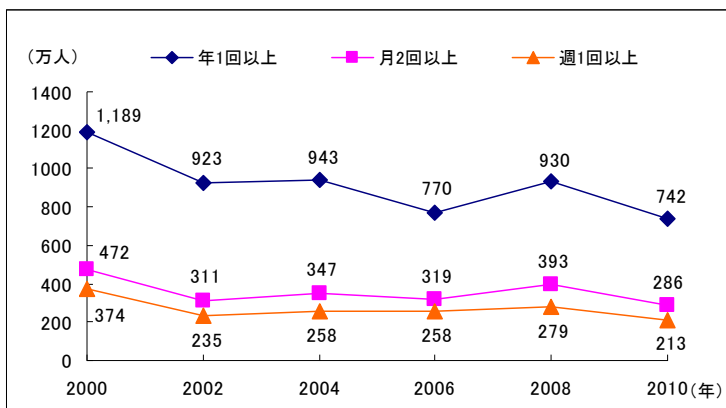
成人の主な種目ごとの10年間の傾向

分析対象とした13種目のうち、ロンドンオリンピックでメダルを獲得した水泳、バドミントン、サッカー、バレーボール、卓球について示した。

年1回以上の実施人口の増加がみられる種目は「サッカー」「バドミントン」であり、週1回以上では「サッカー」のみであった。また、年1回以上、週1回以上ともに実施人口が増加している種目は、サッカーのみであり、2000年に214万人であった年1回以上の実施人口は、2010年には478万人と10年間で大きく実施者を増やしている。

一方、実施人口の減少が激しい種目は「水泳」であり、年1回以上、週1回以上ともに実施人口の減少が他の種目に比べて顕著である。しかし、水泳は依然として週1回以上の定期的に行うスポーツ種目として上位にランクインしており人気の高い種目である。

図1 成人の水泳実施人口の推移

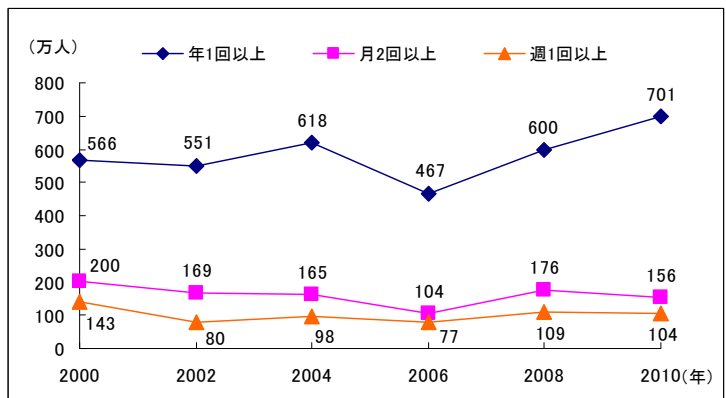


「年1回以上」では、2000年の推計人口が1,189万人、2010年は742万人であり減少傾向がみられる。「月2回以上」においても472万人から286万人、「週1回以上」が374万人から213万人と、いずれの実施頻度も2000年からの10年間で減少傾向にある。

	2000年 (n=2,232)	2002年 (n=2,267)	2004年 (n=2,288)	2006年 (n=1,867)	2008年 (n=2,000)	2010年 (n=2,000)
年1回以上 (%)	12.0	9.2	9.3	7.5	9.0	7.2
月2回以上 (%)	4.7	3.1	3.4	3.1	3.8	2.8
週1回以上 (%)	3.8	2.3	2.5	2.5	2.7	2.1
住民基本台帳の成人人口(人)	99,426,665	100,649,429	101,730,947	102,636,961	103,387,474	103,824,522

注1) 図3-1の人口は住民基本台帳の成人人口(人)に、実施率(%)を乗じて算出。
 注2) 「年1回以上」は「月2回以上」、「週1回以上」も含む。また、「月2回以上」は「週1回以上」も含む。
 笹川スポーツ財団「スポーツ活動に関する全国調査」(2000~2010)より作成

図2 成人のバドミントン実施人口の推移

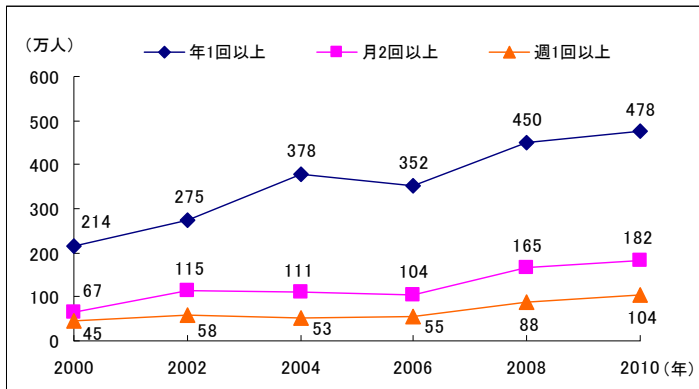


「年1回以上」では、2000年の推計人口が566万人、2010年は701万人であり増加傾向がみられる。「月2回以上」では200万人から156万人、「週1回以上」では143万人から104万人と、いずれも2000年からの10年間で減少傾向を示している。

	2000年 (n=2,232)	2002年 (n=2,267)	2004年 (n=2,288)	2006年 (n=1,867)	2008年 (n=2,000)	2010年 (n=2,000)
年1回以上 (%)	5.7	5.5	6.1	4.6	5.8	6.8
月2回以上 (%)	2.0	1.7	1.6	1.0	1.7	1.5
週1回以上 (%)	1.4	0.8	1.0	0.7	1.1	1.0
住民基本台帳の成人人口(人)	99,426,665	100,649,429	101,730,947	102,636,961	103,387,474	103,824,522

注1) 図4-1の人口は住民基本台帳の成人人口に、実施率(%)を乗じて算出。
 注2) 「年1回以上」は「月2回以上」、「週1回以上」も含む。また、「月2回以上」は「週1回以上」も含む。
 笹川スポーツ財団「スポーツ活動に関する全国調査」(2000~2010)より作成

図3 成人のサッカー実施人口の推移

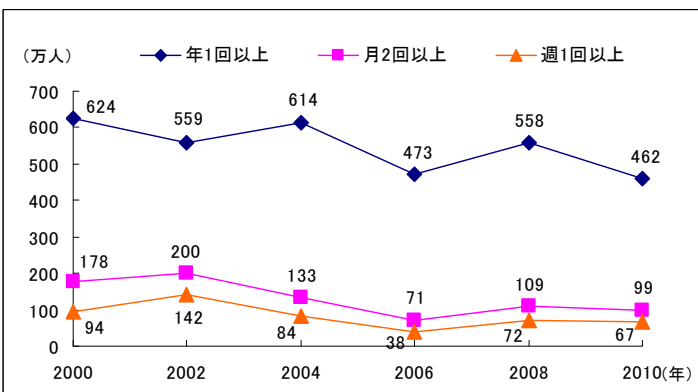


「年1回以上」では、2000年の推計人口は214万人、2010年は478万人と年々増加を続けている。また、「月2回以上」は100万人から180万人、「週1回以上」は50万人から100万人の間で推移しており、いずれも2000年からの10年間で増加傾向がみられる。

	2000年 (n=2,232)	2002年 (n=2,267)	2004年 (n=2,288)	2006年 (n=1,867)	2008年 (n=2,000)	2010年 (n=2,000)
年1回以上 (%)	2.2	2.7	3.7	3.4	4.4	4.6
月2回以上 (%)	0.7	1.1	1.1	1.0	1.6	1.8
週1回以上 (%)	0.4	0.6	0.5	0.5	0.9	1.0
住民基本台帳の成人人口(人)	99,426,665	100,649,429	101,730,947	102,636,961	103,387,474	103,824,522

注1) 図6-1の人口は住民基本台帳の成人人口(人)に、実施率(%)を乗じて算出。
 注2) 「年1回以上」は「月2回以上」、「週1回以上」も含む。また、「月2回以上」は「週1回以上」も含む。
 笹川スポーツ財団「スポーツ活動に関する全国調査」(2000~2010)より作成

図4 成人の卓球実施人口の推移

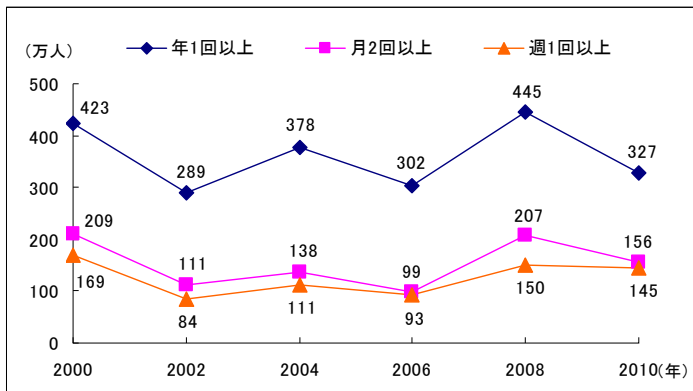


「年1回以上」では、2000年の推計人口が624万人、2010年は462万人であり減少傾向がみられる。「月2回以上」においても178万人から99万人、「週1回以上」が94万人から67万人と、いずれの実施頻度も2000年からの10年間で減少傾向にある。

	2000年 (n=2,232)	2002年 (n=2,267)	2004年 (n=2,288)	2006年 (n=1,867)	2008年 (n=2,000)	2010年 (n=2,000)
年1回以上 (%)	6.3	5.6	6.0	4.6	5.4	4.5
月2回以上 (%)	1.8	2.0	1.3	0.7	1.1	1.0
週1回以上 (%)	0.9	1.4	0.8	0.4	0.7	0.7
住民基本台帳の成人人口(人)	99,426,665	100,649,429	101,730,947	102,636,961	103,387,474	103,824,522

注1) 図8-1の人口は住民基本台帳の成人人口(人)に、実施率(%)を乗じて算出。
 注2) 「年1回以上」は「月2回以上」、「週1回以上」も含む。また、「月2回以上」は「週1回以上」も含む。
 笹川スポーツ財団「スポーツ活動に関する全国調査」(2000~2010)より作成

図5 成人のバレーボール実施人口の推移



「年1回以上」では2000年の推計人口が423万人、2010年は327万人であり、増減を繰り返しながら推移しており、減少の傾向がみられる。「月2回以上」は209万人から156万人、「週1回以上」は169万人から145万人と、いずれも2000年からの10年間で横ばい傾向がみられる。

	2000年 (n=2,232)	2002年 (n=2,267)	2004年 (n=2,288)	2006年 (n=1,867)	2008年 (n=2,000)	2010年 (n=2,000)
年1回以上 (%)	4.3	2.9	3.7	2.9	4.3	3.2
月2回以上 (%)	2.1	1.1	1.4	1.0	2.0	1.5
週1回以上 (%)	1.7	0.8	1.1	0.9	1.5	1.4
住民基本台帳の 成人人口(人)	99,426,665	100,649,429	101,730,947	102,636,961	103,387,474	103,824,522

注1) 図12-1の人口は住民基本台帳の成人人口に、実施率(%)を乗じて算出。
 注2) 「年1回以上」は「月2回以上」、「週1回以上」も含む。また、「月2回以上」は「週1回以上」も含む。
 笹川スポーツ財団「スポーツ活動に関する全国調査」(2000～2010)より作成

<調査結果の詳細はこちら>

<http://www.ssf.or.jp/index.html>

■ スポーツライフ・データ (調査名：スポーツ活動に関する全国調査) 2000～2010 調査概要

【対象：成人】

	調査年					
	2000年	2002年	2004年	2006年	2008年	2010年
母集団	全国の市区町村に居住する満20歳以上の男女					
標本数	3,000人			2,000人		
地点数	市部164地点 郡部46地点 合計210地点	市部166地点 郡部44地点 合計210地点	市部168地点 郡部42地点 合計210地点	市部176地点 郡部34地点 合計210地点	市部189地点 郡部21地点 合計210地点	市部189地点 郡部21地点 合計210地点
抽出方法	層化二段無作為抽出法			割当法		
調査方法	訪問留置法による質問紙調査					
有効回収数(率)	2,232 (74.4%)	2,267 (75.6%)	2,288 (76.3%)	1,867 (62.2%)	2,000 (100%)	
調査時期	5月～6月			6月～7月	5月～6月	
運動・スポーツ実施の範囲	学校の授業は除くが、学校や職場のクラブ活動は含む					
調査内容	運動・スポーツ実施状況、今後行いたい運動・スポーツ種目(実施希望)、スポーツクラブの加入状況、スポーツ観戦の有無、スポーツボランティア参加の有無、運動・スポーツへの態度など					

※ 実施人口の算出方法

実施人口は住民基本台帳の人口(人)に、実施率(%)を乗じて算出した。